

資料 3

南北線延伸線事業全体の 資金計画、建設費の概要

資金計画

(単位:億円)

	資金種別		金額
インフラ部	社会資本整備総合交付金 (関連事業)	国庫補助金	125
		自治体負担分	125
計			250
インフラ外部	社会資本整備総合交付金 (基幹事業、効果促進事業)	国庫補助金	56
		自治体負担分	56
	日本政策投資銀行借入金		27
	市中銀行借入金		27
計			165
合計			415
鉄道事業法区間建設費			257
建設費合計			672

北大阪急行線延伸における事業スキーム



- ◆適用制度 社会資本整備総合交付金制度を適用 (都市・地域交通戦略推進事業等)
 - 【基幹事業】 軌道(インフラ外部)整備
 - 【関連事業】 軌道(インフラ部)整備、鉄道整備
 - 【効果促進事業】 新造車両の導入
- ◆適用法 軌道法 ≪(仮称)新箕面駅(駅含む)～(仮称)箕面船場駅(駅含む)≫
 鉄道事業法 ≪(仮称)箕面船場駅(駅含まず)～千里中央駅(既存鉄道駅)≫
- ◆整備主体 軌道(インフラ外部) …軌道事業者 軌道(インフラ部) …道路管理者
 鉄道 …鉄道事業者

事業スキームの考え方

■社会資本整備総合交付金を活用した事業展開

箕面市は、魅力ある都市将来像の実現に向け、公共交通を軸とした交通体系の確立をめざし、「箕面市総合都市交通戦略」を策定して、まちづくりと連携した交通施策を円滑かつ着実に推進するため、社会資本整備総合交付金を活用して、本事業と関連する施策をパッケージで事業展開を図るものである。

■基幹事業、関連事業(関連社会資本整備事業)及び効果促進事業の区分

基幹事業は、新駅周辺等で進めるまちづくりの効果を最大限に発現させるなど、まちづくりとの連携を図るとともに、安全で円滑な交通を確保するため、都市・地域交通戦略推進事業の公共交通に関する施設として、箕面市域の中心部に、(仮称)新箕面駅・(仮称)箕面船場駅間の軌道(併用軌道)を整備するものである。

関連事業は、現況道路の勾配や交通処理能力等を鑑み、軌道のインフラ部を高架構造等として整備する必要があることから、特殊街路として道路施設(非基幹事業の道路施設)を整備するものである。また、市域外の既存鉄道駅である千里中央駅と相互直通を行い軌道の整備効果を最大限に発現させるため、別途、鉄道を(仮称)箕面船場駅まで延伸整備するものである。

効果促進事業は、軌道・鉄道整備と一体となって、その効果をより一層高めるため、新造車両を導入するものである。

■適用法の区分

(仮称)新箕面駅・(仮称)箕面船場駅間は、道路区域内の高架構造(地下部への遷移区間を含む)になるとともに、安全で円滑な交通を確保するため、道路交通の補助的交通機関として、軌道法で軌道整備するものである。

(仮称)箕面船場駅・千里中央駅間は、本事業の整備効果を最大限に発現するため、既存鉄道と相互直通を行うことから、地下構造の千里中央駅と接続するため、全て地下構造になり、道路交通との調整を行う必要がなく、旅客輸送を主とする区間となることから、鉄道事業法で鉄道整備するものである。

社会資本整備総合交付金を活用した交通まちづくり(イメージ)

公共交通とまちづくりの一体的な整備計画



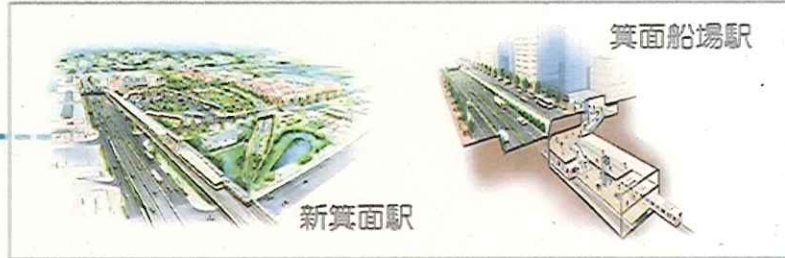
都計道路の整備



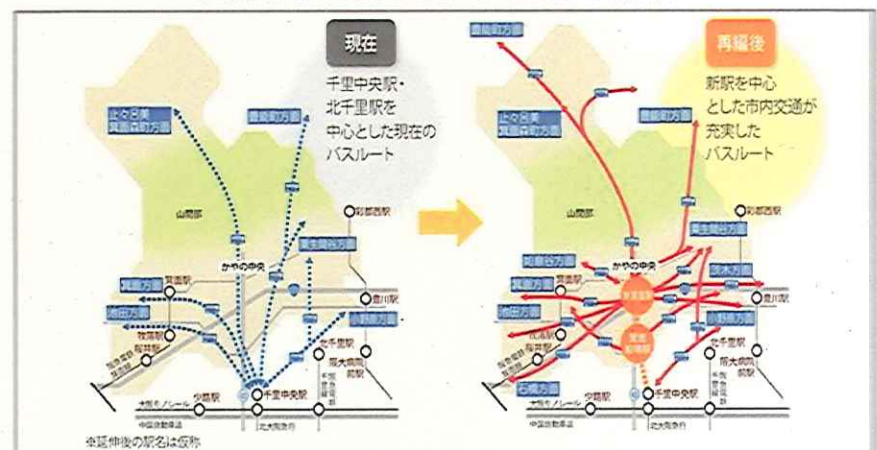
駐輪場の整備



都市高速鉄道の整備



新駅を中心としたバス路線の再編



社会資本整備総合交付金を活用した交通まちづくり(イメージ)

(仮称)

箕面船場駅

ビジネス拠点として高い価値

船場地域は、箕面市で唯一高いビルが建設できる地区です。新駅ができることにより、ビジネス拠点として必須である高いアクセス性を武器に新たな企業集積などをめざします。

保健医療・スポーツ・文化を核に

保健医療・スポーツなどの健康機能と、公共ホールなどの文化機能を備えた複合施設を、産学官協働で整備しようとする構想の具体化をめざしています。

大阪大学箕面キャンパス

箕面キャンパスの箕面船場への移転に向けて、大阪大学と箕面市が合意しました。

市民ホールの移転新築

箕面船場駅周辺を現・市民ホールの移転先最終候補地として予定しています。

土地区画整理事業

平成26年6月に準備組合が発足し、事業計画の作成などが進んでいます。



北大阪急行線の延伸計画

新駅周辺のまちづくり

集客力のある施設を整備

バス乗り場の上空を立体的に利用して新しい施設を作り、「子育て」を集客の核として、かやの中央の魅力を一層引き出す施設の建設をめざします。

(仮称)

新箕面駅



交通広場・駐輪場・道路を整備

バス乗り場や駐輪場など、ターミナル駅に相應しい機能を新たに整備します。また、駅周辺の都市計画道路の整備にも着手しています。

概算建設費

		数 量	単 価 (百万円)	金 額 (百万円)
直接工事費	測量監督費	1式		1,246
	用地費	19,626m ²	0.076	1,497
	ずい道費	0.537km	25,225	13,546
	橋梁費	0.772km	9,753	7,529
	軌道費	1.322km	1,025	1,355
	停車場費	2ヶ所		3,883
	車両費	3編成		2,406
	通信線路費	1.316km	2,731	3,594
	電力線路費	1.316km	917	1,207
	変電所費	1ヶ所		1,274
	直接工事費計			37,537
間接費	総係費			901
	建設利息			106
	間接費計			1,007
	消費税			2,955
	合計			41,500